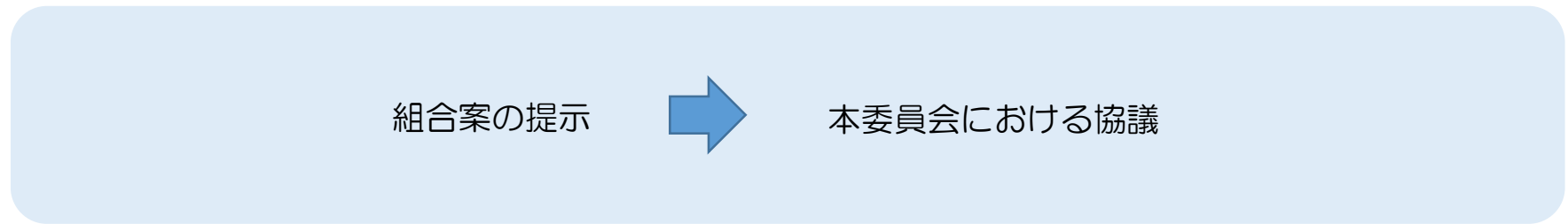


1. 基本方針の設定方法

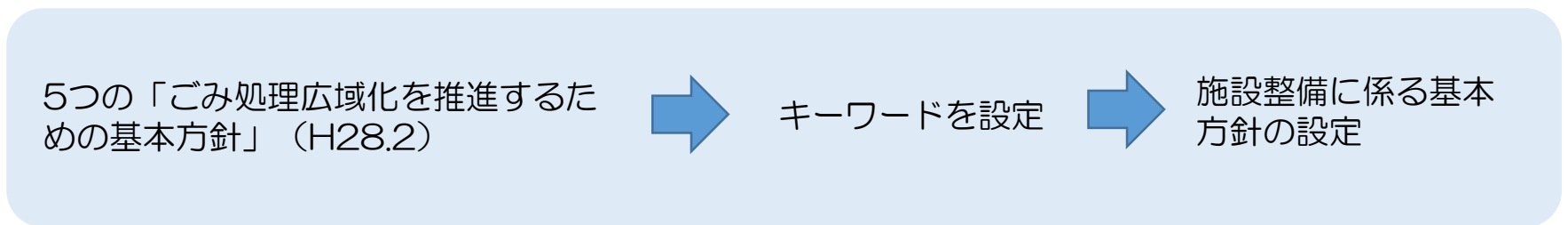
（1）設定の流れ

施設整備基本計画の策定及びPFI等導入可能性調査の実施に当たり、施設整備に係る基本方針を設定します。



（2）設定に向けた考え方

平成28年2月に策定した一般廃棄物（ごみ）処理基本計画におけるごみ処理広域化を推進するための基本方針を踏まえてキーワードを設定し、このキーワードに基づき施設整備に係る基本方針を設定します。





2. 基本方針（案）

（1）キーワードの設定

ごみ処理広域化を推進のための基本方針を踏まえ、施設整備に係る基本方針の設定に向けたキーワードを設定します。

ごみ処理広域化を推進するための基本方針		施設整備に係る基本方針の設定に向けたキーワード	
		キーワード	設定理由
持続可能な循環型社会の形成	4R（リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル）を進め、持続可能な循環型社会を作ることを目指します。	資源化	ごみの減量化・資源化を進め、適正で効率的な施設を目指す。
ごみ処理サービスの向上	構成市間で異なるごみ処理ルールの取扱いについて、公平性に配慮して考え方を整理した上で、ごみの適正処理に取り組む住民や排出事業者に対して、適切な支援を行います。	市民	ごみの適正処理に取り組む住民や排出事業者を支援し、資源の有効活用が図れる施設を目指す。
民間施設を活用したごみ処理体制の構築	構成市内及び近隣の民間処理業者が持つ施設・人材・技術力を活用し、効率的にごみ処理を進める仕組みを作ります。 施設の整備にあたっては、既存施設の活用（ストックマネジメント）や民間経営手法（PFI等）の導入を検討し、経済的な処理体制を構築します。	民間経営手法の検討	民間経営手法の導入等を検討し、経済的な処理体制を指す。
環境保全・災害対応型施設の整備	ダイオキシン類などの公害対策はもちろん、地球温暖化防止及び省エネルギー・創エネルギーなど環境対策に優れた施設及び非常災害に対応できる施設の整備を目指します。	環境配慮	公害対策や周辺環境に配慮した施設を目指す。
		災害対応性	災害に対する強靱化など、災害に対応した施設を目指す。
		安心・安全・安定	環境保全対策を十分に施し、周辺住民が安全で安心、安定した施設を目指す。
		エネルギーの有効活用	高効率な発電等エネルギーの有効活用を図るとともに、燃料使用量を削減できる施設を目指す。
ごみ処理の費用負担軽減	施設整備費はもとより維持管理費も含め、コスト削減と費用対効果の検討を徹底します。	経済性	施設整備費や維持管理費の削減など、経済性に優れた施設を目指す。

2. 基本方針（案）

（2）基本方針（案）の設定

キーワードをもとに、5つの施設整備に係る基本方針を設定します。

キーワード

資源化、市民、民間経営手法の検討、環境配慮、災害対応性、
安心・安全・安定、エネルギーの有効活用、経済性

